

宮城県丸森町の養豚場で豚熱が発生！（国内76例目） 11県26農場が疫学関連農場

【農場概要】所在地：宮城県丸森町

飼養状況：約7,000頭

異状が見られた豚群は10月上旬生まれ、
12月9日に豚熱ワクチン接種済み、約70日齢の群であった。

【疫学関連農場】岩手県（1農場）、宮城県（1農場）
山形県（2農場）、茨城県（6農場）
栃木県（2農場）、群馬県（2農場）
埼玉県（2農場）、千葉県（6農場）
神奈川県（1農場）、静岡県（2農場）
愛知県（1農場）

※これらの農場で飼養する豚のうち、発生農場から移動した豚や、発生農場の豚から採取された精液を用いて人工授精を行った豚などの疑似患畜（合計約900頭）について殺処分を実施。

【経緯】12月24日 異状（呼吸器症状、下痢、発熱）が見られる
と発生農場から家保に通報→立ち入り検査
12月25日 宮城県の検査で豚熱の疑い
→農研機構動物衛生部門で遺伝子検査を
実施し豚熱疑似患畜であることを確認

ワクチン未接種豚、接種後抗体が十分に上がっていない豚がいる豚舎についてバイオセキュリティレベルをあげましょう！

豚熱ワクチン接種開始以降、離乳舎などワクチン未接種や接種してから日が浅い豚舎での発生が多いです。

離乳舎等への立ち入りを最初にして、他の豚舎に入った人が同日内に離乳舎に入らないようにする、踏み込み消毒槽の交換頻度や消毒の濃度をあげるなど、離乳舎等については他の豚舎より一段レベルの高い対策をお願いします。

異状があれば**直ちに中央家畜保健衛生所へ連絡**をお願いします。

電話番号：058-201-0530

時間外・夜間・休日：090-7024-5269

